



■学校教育目標■ 生徒の主体性と自律性を育み、地域社会に貢献する生徒の育成

城北中



だより

2024年(令和6年)5月17日

福山市立城北中学校長 山口裕三

No. 2

自分の知っていることや経験を使って考えてみる。

先月、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)が実施されました。どのような問題が出題されたのか数学を例に見てみましょう。

今年度のⅡの問題は、

連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表します。 n を整数とすると、連続する2つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表しなさい。

という問題でした。文字ばかりで、数が出てこず、計算等ありません。本当に数学の問題なのかと、すぐに諦めてしまいそうですが、数学の問題です。

問題を読んでもみると、「連続する2つの偶数」とあります。「偶数」という言葉をどこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。2、4、6、8、10、…ですよね。いわゆる「2の倍数」です。「連続する2つの偶数」ということは、どういうことでしょうか?連続しているのですから、「8、10」や「40、42」、…ということになります。

次に出てくるのは、「 n を整数とする」ですね。「整数」という言葉も聞いたことがあるのではないのでしょうか。小数(0.1、-0.05、4.2、…)や分数($1/2$ 、 $5/3$ 、…)ではない数(1、2、3、…、0、-1、…、-35、…)です。偶数(=2の倍数)は、「 $2 \times (\text{整数})$ 」です。連続するということは、「大きいほうの偶数は、小さいほうの偶数よりも2大きい」ことになります。これをどう表すか…。

ここまでにします。なんだか、解けそうな感じがしませんか?

数学に限らず、どの教科でも、自分の知っていることや経験を使って考えてみたり、友達と意見を交わしたりすることで解けたりすることもあるのです。

分からない!と諦めたり、うつ伏せたりするのではなく、ちょっと考えてみるということをやってみてください。

先生たちも、どのような授業が、生徒のみなさんの「わかった!」につながるか一生懸命に教材研究をしています。5月24日(金)は参観日です。保護者の皆様、ぜひ、授業の様子をご覧ください。



〈スクールカウンセラーについて〉

本校では、スクールカウンセラー(小林穂高先生)に来ていただいています。対象は、生徒、保護者の方で、予約制になっています。カウンセリングを希望される方は、担任または教頭へ連絡してください。

(来校日)

5月	17, 24, 31日	9月	6, 13, 20日	1月	10, 24, 31日
6月	7, 14, 28日	10月	4, 11, 18, 25日	2月	7, 14, 28日
7月	5, 12日	11月	8, 22, 29日		
8月	23日	12月	13, 27日		

※ 来校時間は9時50分～16時20分です。